



静小だより

みがき かがやく 静小の子ども

「知」 よく考える子
「徳」 思いやりのある子
「体」 たくましい子



「学校」「家庭」「地域」すべての場で 健全な子どもの育成を めざしましょう。

見えない成長 ～学習発表会を通じた子どもたちの成長～

日常の学習成果を披露する学習発表会。お子さんをはじめ、多くの子どもたちの成長を感じ取っていたのではないかと感じます。明るく元気な姿と声で会場内を温かい雰囲気にくれた1年生、息の合った演奏で会場に感動を与えてくれた6年生など、全学年の子どもたちのがんばりや成長がたくさん感じられた学習発表会であったと感じています。毎日練習を指導してきた担任も本番でがんばる子どもたちの姿に感動していました。

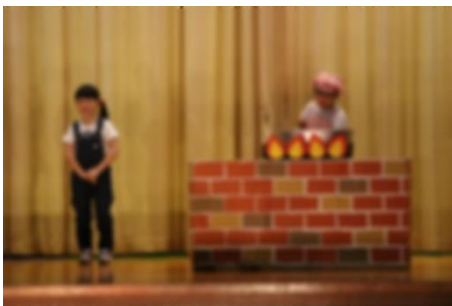
目に見える成長もありましたが、発表会当日に学校長が挨拶で述べた「見えない成長」も特別日課中においてたびたび目にすることがありました。総練習2日前、器楽練習に行くために廊下を歩く2年生男子3名の会話を耳にしました。

「ぼく、うまくひけないからイライラする。もう嫌だ。」
「大丈夫だって。うまくなるから。諦めないでやろうよ。」
「一緒にがんばろう。大丈夫だから。」

この会話の後、イライラしていた子が安心した表情を見せはじめました。寄り添い優しく声をかける男子2人。互いを思いやり、そして支え合う関係。素敵一面を目にできました。

今後、授業参観や学級レクなどで学校に来られることと思いますが、授業でのがんばりも含め、授業後の友達との触れ合い、学習用具の整理や後片付けなど、いつもと違った角度からお子さんや学級の子どもたちの成長を感じ取っていただきたいと思います。

【1年生 劇】 にげだした ほっとけーき



【2年生 音楽】 君をのせて ほか



【3年生 劇】 バンコートランドのゆかいなねこたち ～星空の絵本～



【4年生 音楽】 八木節 ほか



【5年生 劇】 ナマケロ ナマケロ



【6年生 音楽】 ヤングマン ほか



【全校合唱】 すてきな友達 ほか



最後になりますが、当日子どもたちへの温かいご声援と拍手、ありがとうございました。

5年生「道」の学習 ～シベチャリ橋からふるさとの魅力を実感～

“シベチャリ橋にはこんな秘密があるんだ！”と、声に出さずも多くの驚きや感動がうつし出された子どもたちの表情。本校や自宅からとても近い距離にあり、日頃あまり意識することがないことからか、橋のデザインに多くの工夫がされていること、町民の願いや秘められた思いを受けて建造されたことについて話がされたとき、子どもたちは驚きを隠せないようでした。

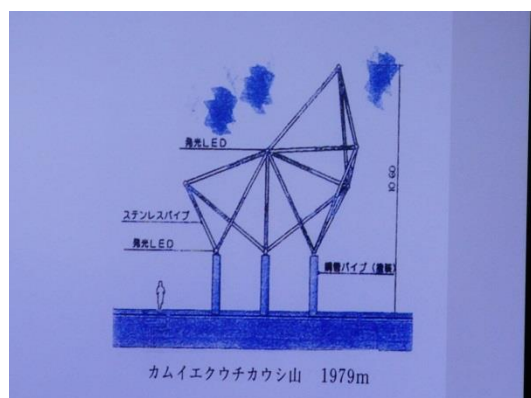
学習時の子どもたちの説明をしっかりと聞き取ろうとする姿勢、耳にした内容を積極的にメモしようとする姿勢に大変感心させられました。子どもたちの姿勢も素晴らしいですが、「地域の方々から直接学ぶ活動が子どもたちの理解や学ぶ姿勢に大きなプラス面になる」ことを改めて実感しました。



人は目に映る物をそんなに数多くの角度からとらえることはないと考えます。物事の判断も一方的な見方やとらえ方で終わることも多々あるのではないのでしょうか。今回の学習では、一つの橋を、デザインや建造された経緯、橋の建造に対する町民の思いや期待等、さまざまな観点や角度からとらえていきました。子どもたちには、将来物事や事象をとらえる場合、ある一面から理解したつもりになったり、良し悪しを判断したり、自分の関わり方を限定したりするのではなく、さまざまな角度から本質を見極め、いろいろなどらえの中から自分との関わりを見出す力を身に付けてほしいと願っています。

「子どもは無限の可能性を秘めている」と言われます。無限の可能性を生かすためには、多様な見方やとらえができ、その中から自分の力を発揮できる位置や機会を見出せる経験が重要だと考えます。今後も本校では「子どもの無限の可能性」を引き出せるよう、専門的知識を有する地域人材や地域教材を教育活動に生かしていきたいと考えています。

◎橋にデザインされた「グーグルアース」です。日高山脈にある山の中から4つの山をもとにデザインしたものとなります。



外国語授業体験 「私たちの時代とは違う学び方なんですね！」

現代はインターネットや交通網等の発展や整備により、世界と簡単につながることができます。例えば、子どもたちが自宅でゲームをしていても、ゲーム上で知り合った世界の人たちと共同してゲームを進めることができる等、グローバル化の波は大人や子供の世界関係なく急激に押し寄せています。今年度から始まった中学年の外国語活動もこのような事情等を受けての実施（他にも趣旨はありますが）と真摯に受け止め、子供たちの将来に役立つ外国語教育となるよう、全職員外国語指導の研修を積み重ねているところです。

さて、10月23日（火）に第1回家庭教育学級「外国語授業体験」が実施され、6名の保護者の方々にご参加いただきました。苦手意識から、活動が始まってしばらくは指導者から指名させることをためらったり、英語による挨拶が小声だったりする様子も見られましたが、時間が経つごとに笑顔を見せられるようになり、全員が英語を楽しまれるようになっていました。そして、活動の最後には6年生最後の教材を目にしていいただき、外国語教育の進化と自分たちの時代との違いに驚かれていました。



【参加者の皆さんの感想】

- ◎とてもわかりやすく、大人でもとても楽しめました。ゲームが楽しくて、さらに覚えようと意欲が掻き立てられました。
- ◎うまく言えないことが恥ずかしいと思っていましたが、間違えても大丈夫なんだという先生の雰囲気が良いので「言ってみよう！」と楽しめました。音楽づきでリズムが学べる楽しさや音声を再生することでネイティブの発音を恥ずかしくなくチャレンジできる内容でした。小学校の英語は考えていたより、レベルが高くてびっくりしました。
- ◎思ったより楽しめました。でも、最後までドキドキしました。
- ◎リズムで英語の勉強ができて、子どもたちは楽しそうです。話せる英語の勉強ができる環境でいいと思います。
- ◎ゲームを行いながらの勉強がよかったと思いました。